

大学番号：私484

注3

[平成26年度設置]

計画の区分：学部設置

注1

届出

長崎総合科学大学 工学部

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人長崎総合科学大学
平成26年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

職名・氏名 キョウムカチョウ オオバヤシ イサオ
教務課長 大林 功

電話番号 095-838-5308

（夜間） 095-838-5308

F A X 095-838-0584

e-mail OBAYASHI_Isao@NIAS.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部(平成◇◇年度より変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成26年3月20日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目 次

- 1 調査対象大学等の概要等
- 2 授業科目の概要
- 3 施設・設備の整備状況、経費
- 4 既設大学等の状況
- 5 教員組織の状況
- 6 留意事項に対する履行状況等
- 7 その他全般的事項

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人長崎総合科学大学

(2) 大学名

長崎総合科学大学

(3) 大学の位置

〒851-0193

長崎県長崎市網場町536

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(タテイシ サトル) 立石 暁 (平成24年11月)	変更なし	
学長	(キジマ カツロウ) 貴島 勝郎 (平成21年4月)	変更なし	
学部長	(ノセ ミキオ) 野瀬 幹夫 (平成26年4月)	変更なし	
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成24年度に報告済の内容 → (24)

平成26年度に報告する内容 → (26)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成23年度開設の4年制の学科の場合(平成26年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
工学部工学科 学士(工学)	4年	150人	0人	600人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	150人 (-) [10]								0.88倍	
志願者数	240 (-) [3]									
受験者数	240 (-) [3]									
合格者数	213 (-) [2]									
B 入学者数	132 (-) [2]									
入学定員超過率 B/A	0.88									

- (注) ・ 数字は, 平成26年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[4] 132	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	
2年次			[]	[]	[]	[]	[]	[]	
3年次					[]	[]	[]	[]	
4年次							[]	[]	
計	[4] 132	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	

- (注) ・ 数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成26年度 入学者	132人	0人	平成26年度	0人	0人		0%
			平成27年度	人	人		
			平成28年度	人	人		
			平成29年度	人	人		
平成27年度 入学者	人	人	平成27年度	人	人		#DIV/0!%
			平成28年度	人	人		
			平成29年度	人	人		
平成28年度 入学者	人	人	平成28年度	人	人		#DIV/0!%
			平成29年度	人	人		
平成29年度 入学者	人	人	平成29年度	人	人		#DIV/0!%
合計	132人	0人					0%

(注)・数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。

・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)

・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。

・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。

・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成26年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、

【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。

・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<工学部 工学科>

(1) 授業科目表

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備 考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
理数科目	基礎数学	1前		3							兼2
	微分積分学Ⅰ	1前・1後		4			1				兼4
	微分積分学Ⅱ	1後・2前		4			1				兼3
	微分積分学Ⅲ	2前		2							兼2
	線形代数学Ⅰ	1前		2							兼5
	線形代数学Ⅱ	1後		2							兼5
	力学Ⅰ	1前		2							兼4
	力学Ⅱ	1後		2							兼4
	熱力学	2前		2							兼3
	電磁気学	2後		2							兼3
共通科目系列 形成科目	大学生入門	1前		2							兼7
	平和を学ぶ	1前・1後		2							兼3
	ながさきを学ぶ	1前		2							兼1
	現代社会を考える	1後		2							兼1
	ことばと映像	1前		2							兼1
	近代日本文学	1後		2							兼1
	哲学	1前・1後		2							兼1
	批判的思考法	1後		2							兼1
	歴史学	1前		2							兼1
	近現代史	1後		2							兼1
	文化人類学	1前		2							兼1
	女性学	1前		2							兼1
	教育学	1前		2							兼1
	現代社会と教育	1後		2							兼1
	心理学	1前		2							兼2
	人間関係論	1後		2							兼2
	日本事情概論	1前		2							兼1
	日本文化論	1後		2							兼1
	憲法Ⅰ	1前		2							兼1
	憲法Ⅱ	1後		2							兼1
	法学入門	1前		2							兼1
	現代社会と法	1後		2							兼1
	経済学	1後		2							兼1
	政治学基礎	1前		2							兼1
	現代政治	1後		2							兼1
	国際関係論	1前		2							兼1
	健康の科学	1後		2							兼1
	人文科学ゼミⅠ	2前		2							兼3
	人文科学ゼミⅡ	2後		2							兼3
	社会科学ゼミⅠ	2前		2							兼2
	社会科学ゼミⅡ	2後		2							兼2
	総合問題ゼミⅠ	3前		2							兼5
	総合問題ゼミⅡ	3後		2							兼5
保健体育実技A	1前		1							兼3	
保健体育実技B	2後		1							兼2	

情報・キャリア科目	情報基礎	1前	2							兼4
	情報基礎演習	1前	2							兼4
情報・キャリア科目	情報科学	2前		2						兼1
	情報と社会	2後		2						兼1
情報・キャリア科目	インターンシップ	2前		2						兼1
	将来計画フォーラム	3通		2		1				
共通科目系列	外国語科目	基礎英語 I A	1前	1						兼5
		基礎英語 I B	1前	1						兼5
共通科目系列	外国語科目	基礎英語 II A	1前・1後	1						兼7
		基礎英語 II B	1前・1後	1						兼7
共通科目系列	外国語科目	英語 I A	1後・2前	2						兼7
		英語 I B	1後・2前	2						兼7
共通科目系列	外国語科目	英語 II	2前・2後	2						兼5
		英語 III	2後・3前	2						兼3
共通科目系列	外国語科目	英会話 I	1前	1						兼1
		英会話 II	1後	1						兼1
共通科目系列	外国語科目	英会話 III	2前	2						兼1
		英会話 IV	2後	2						兼1
共通科目系列	外国語科目	英語演習A	3前	2						兼1
		英語演習B	3後	2						兼1
共通科目系列	外国語科目	日本語 I A	1前	1						兼1
		日本語 I B	1前	1						兼1
共通科目系列	外国語科目	日本語 II A	1後	1						兼1
		日本語 II B	1後	1						兼1
共通科目系列	外国語科目	日本語 III	2前	2						兼1
		日本語 IV	2後	2						兼1
共通科目系列	外国語科目	日本語演習A	3前	2						兼1
		日本語演習B	3後	2						兼1
共通科目系列	外国語科目	独語 I	1前	1						兼1
		独語 II	1後	1						兼1
共通科目系列	外国語科目	仏語 I	1前	1						兼1
		仏語 II	1後	1						兼1
共通科目系列	外国語科目	中国語 I A	1前	1						兼1
		中国語 I B	1前	1						兼1
共通科目系列	外国語科目	中国語 II A	1後	1						兼1
		中国語 II B	1後	1						兼1
専門科目系列	基礎科目	微分方程式	2前	2						兼1
		フーリエ変換ラプラス変換	2後	2						兼1
専門科目系列	基礎科目	ベクトル解析	2前	2		1				兼1
		確率・統計	2前	2						兼1
専門科目系列	基礎科目	代数学A	2前	2						兼1
		代数学B	2後	2						兼1
専門科目系列	基礎科目	幾何学A	3前	2						兼1
		幾何学B	3後	2						兼1
専門科目系列	基礎科目	プログラミング基礎	1後	2		1	1			兼1
		プログラミング応用	2前	2						兼2
専門科目系列	専門科目	図学	1前	4			2			
		職業指導 I	4前	2						兼1
専門科目系列	専門科目	職業指導 II	4後	2						兼1
		工学概論	1後	2		9	6			
専門科目系列	専門科目	技術と倫理	2後	2		9	6			
		数値計算法	3後	2			1			
専門科目系列	専門科目	船舶海洋工学入門	1前	2		2	2	1		
		造船幾何	1前	2				1		
専門科目系列	専門科目	船体構造	1後	2			1			
		船舶数学基礎	1後	2				1		
専門科目系列	専門科目	船舶工学基礎実験	2後	2		1		1		
		浮体静力学	2前	2			1			
専門科目系列	専門科目	船体復原論	2後	2			1			
		流体力学 I	2前	2		1				

専門科目系列	専門科目	機械工学実験Ⅰ	2後	2			1	3			1	
		機械工学実験Ⅱ	3前	2			1	4			1	
		機械設計製図	2前	2								兼1
		機械工学ゼミ	3後		2		1	4				兼1
		機械と国際化	3後		2							兼1
		機械と物理	1前		2				1			
		技術英語	1後		2				1			
		航空機設計法	3後		2				1			
		技術者倫理	3前		2			1	4			
		技術者コミュニケーション実習	4前		2			1	4			
		制御工学	3前		2							兼1
		メカトロニクス	3後		2							兼1
		自動車工学	3前		2			1				
		蒸気工学	3前		2							
		建築製図A	1前	3					2			
		建築製図B	1後	3					2			
		建築設計製図ⅠA	2前	3				1	1			兼1
		建築設計製図ⅠB	2後	3				1	1			兼1
		建築設計製図ⅡA	3前	3				1	1			兼1
		建築設計製図ⅡB	3後	3				1	1			兼1
		造形デザイン	1前		2							兼1
		建築計画A	2後	2				1				
		建築計画B	3前		2			1				
		建築意匠	3後		2				1			
		西洋建築史	3前		2				1			
		日本建築史	3後	2					1			
		建築学海外研修	3後		2			3	2			
		都市計画	3前	2				1				
		地域計画	3後		2			1				
		構造力学Ⅰ	1通	4				1				
		構造力学ⅡA	2前		2			1				
		構造力学ⅡB	2後		2			1				
		建築一般構造	2前		2			1				
		構造計画	2後		2							兼1
		耐震設計法	2後		2			1				
		鉄筋コンクリート構造	3前	2				1				
		鉄筋コンクリート構造演習	3前		2			1				
		鋼構造	3後	2								兼1
		鋼構造演習	3後		2							兼1
		環境工学Ⅰ	2前	2				1				
		環境工学Ⅱ	2後	2				1				
		環境工学Ⅲ	3前		2			1				
		建築設備基礎	3前	2				1				
		建築設備計画	3後		2			1				
		建築材料	2前	2				1				
		建築材料実験	2前		2			1				
		建築施工	3後	2								兼1
		建築概論	1前	2				3	2			
		建築CAD	2後		2				1			
		建築設計製図SA	3前		3							兼3
建築設計製図SB	3後		3							兼3		
建築測量	3前		2				1					
建築再生論	3後		2			2	1					
住生活文化論	3前		2				1					
現代建築事情	3後		2							兼3		
建築法規	3前	2								兼1		
建築学演習	3後		2			3	2					
研究ゼミナール	4前	2				3	2					
電気工学基礎Ⅰ	1前		2						1			
電気工学基礎Ⅱ	1後		2									

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
55	249	0	304	0	0	0	0	
				[]	[]	[]	[]	

(注)・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例:1科目減の場合:△1)

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体			
	校舎敷地	67,527㎡	㎡	㎡	67,527㎡				
	運動場用地	34,116㎡	㎡	㎡	34,116㎡				
	小 計	101,643㎡	㎡	㎡	101,643㎡				
	そ の 他	101,487㎡	㎡	㎡	101,487㎡				
	合 計	203,130㎡	㎡	㎡	203,130㎡				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体				
	26,976㎡ (㎡)	0㎡ (㎡)	0㎡ (㎡)	26,976㎡ (㎡)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
	32室	67室	59室	9室 (補助職員 2人)	1室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数						
	工学部 工学科		39 室						
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体での 共用部分 図書 118,282〔21,347〕 学術雑誌 2,044〔461〕	
		工学部工学科	63,134〔8,010〕 (60,734〔7,410〕)	1,387〔310〕 (1,362〔307〕)	25〔10〕 (0〔0〕)	250 (224)	6 (6)		2 (2)
	計	63,134〔8,010〕 (60,734〔7,410〕)	1,387〔310〕 (1,362〔307〕)	25〔10〕 (0〔0〕)	250 (224)	6 (6)	2 (2)		
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数			大学全体		
	1,855㎡		250	171,333					
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
	1,758㎡								
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	届出学科全体 図書費には電子 ジャーナルの整備費 を含む
		教員1人当り研究費等	100千円	100千円	図書購入費	1,431千円	1,931千円	1,931千円	
	共同研究費等	0千円	0千円	設備購入費	9,237千円	9,237千円	9,237千円		
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,330千円	1,150千円	1,170千円	1,190千円	千円	千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要								

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成26年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(26)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	長崎総合科学大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 員	学位又 は称号	平均定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
大学院修士課程 工学研究科									
環境計画学専攻	2	10	—	20	修士 (工学)	0.55	平成9 年度	長崎県長崎市 網場町536番地	
電子情報学専攻	2	10	—	20	修士 (工学)	0.65	平成9 年度	同上	
生産技術学専攻	2	10	—		修士 (学術)	0.3	平成18 年度	同上	
大学院博士後期課程 工学研究科									
総合システム工学専攻	3	3	—	9	博士 (工学) 博士 (学術)	0.55	平成14 年度	長崎県長崎市 網場町536番地	
工学部									
船舶工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	昭和40 年度	長崎県長崎市 網場町536番地	平成26年4月より 学生募集停止
機械工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	昭和43 年度	同上	平成26年4月より 学生募集停止
電気電子工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	昭和40 年度	同上	平成26年4月より 学生募集停止
建築学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—			
工学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成26 年度	同上	
情報学部									
知能情報学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成17 年度	同上	平成26年4月より 学生募集停止
経営情報学科	4	—	—	—	学士 (工学)	—	平成17 年度	同上	平成26年4月より 学生募集停止
環境・建築学部									
人間環境学科	4	—	—	—	学士(人 間環境学)	—	平成21 年度	同上	平成26年4月より 学生募集停止
建築学科	4	—	—	—	学士 (建築学)	—	平成21 年度	同上	平成26年4月より 学生募集停止
総合情報学部									
総合情報学科	4	85	—	85	学士 (工学)	0.67	平成26 年度	同上	

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成26年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。(ただし, 専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。)
- ・ 「平均定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を, 学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には, 専攻課程)単位で記入してください。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員と収容定員は「-」とし, 「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。
 - ・ 大学, 短期大学においては学科単位(短期大学において専攻課程を置くときは専攻課程単位), 大学院においては専攻単位で記入してください。

5 教員組織の状況

<工学部工学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	林田 滋 (65)	平成28年4月	将来計画フォーラム 船体抵抗推進論 プロジェクトⅢ プロジェクトⅣ 工場学習 卒業研究						
兼任	教授	林田 滋 (63)	平成26年4月	工学概論 技術と倫理 船舶海洋工学入門 船舶工学基礎実験 流体力学Ⅰ 流体力学Ⅱ 造船設計Ⅱ 造船設計Ⅱ演習 プロジェクトⅠ プロジェクトⅡ						
専	教授	野瀬 幹夫 (63)	平成29年4月	プロジェクトⅣ 卒業研究						
兼任	教授	野瀬 幹夫 (60)	平成26年4月	工学概論 技術と倫理 船舶海洋工学入門 構造力学 船体強度論Ⅰ 船体強度論Ⅱ 造船設計Ⅳ 造船設計Ⅳ演習 プロジェクトⅠ プロジェクトⅡ プロジェクトⅢ	専	教授	野瀬 幹夫 (60)	平成26年4月	工学概論 技術と倫理 船舶海洋工学入門 構造力学 船体強度論Ⅰ 船体強度論Ⅱ 造船設計Ⅳ 造船設計Ⅳ演習 プロジェクトⅠ プロジェクトⅡ プロジェクトⅢ 卒業研究	工学部長に選出された為 兼任教員から専任教員への異動を行った。
専	教授	平子 康 (66)	平成28年4月	メカフォーラムⅢ 内燃機関 伝熱工学 機械工学演習 機械工学実験Ⅱ 機械工学ゼミ 工場実習 自動車工学【隔年】 蒸気工学【隔年】 技術者倫理 技術者コミュニケーション実習 卒業研究						
兼任	教授	平子 康 (64)	平成26年4月	工学概論 技術と倫理 機械工学基礎実験 機械工学実験Ⅰ						
専	教授	田中 義人 (56)	平成29年4月	科学技術英語 卒業研究						
兼任	教授	田中 義人 (53)	平成26年4月	電気回路Ⅰ 電気回路Ⅱ デジタル回路基礎 デジタル回路設計Ⅰ デジタル回路設計Ⅱ 工学フォーラム 技術と倫理 工学概論						
専	教授	池田 雅博 (64)	平成26年4月	電気機器 エネルギー変換工学 パワーエレクトロニクスⅠ パワーエレクトロニクスⅡ 電気電子基礎実験 電気機器設計製図 工学フォーラム 技術と倫理 工学概論 科学技術英語 卒業研究 システム工学特別演習						
専	教授	谷山 純太郎 (73)	平成26年4月	工学概論 技術と倫理 工学フォーラム 人の構造及び機能 医学概論 解剖学 臨床生理学 病理学概論 臨床薬理学 基礎医学及び同実習 医学特別演習Ⅰ 医学特別演習Ⅱ 卒業研究						
専	教授	本村 政勝 (59)	平成29年4月	卒業研究						

兼担	教授	本村 政勝 (56)	平成26年4月	工学フォーラム 医学概論 臨床生理学 臨床生化学 臨床免疫学 公衆衛生学 基礎医学及び同実習 臨床医学総論Ⅲ						
専	教授	川添 薫 (57)	平成29年4月	生体計測装置学実習 臨床実習 卒業研究						
兼担	教授	川添 薫 (54)	平成26年4月	工学概論 技術と倫理 工学フォーラム 医学概論 看護学概論 解剖学 臨床生理学 公衆衛生学 基礎医学及び同実習 関係法規 医用機器学概論 医用機器安全管理学実習 医療情報 医用治療機器学 医用治療機器学実習						
専	教授	田中 俊彦 (60)	平成26年4月	工学フォーラム 工学概論 技術と倫理 建築学海外研修 環境工学Ⅰ 環境工学Ⅱ 環境工学Ⅲ 建築設備基礎 建築設備計画 建築概論 建築学演習 建築再生論 研究ゼミナール 卒業研究	兼担	教授	田中 俊彦 (60)	平成26年4月	工学フォーラム 工学概論 技術と倫理 建築学海外研修 環境工学Ⅰ 環境工学Ⅱ 環境工学Ⅲ 建築設備基礎 建築設備計画 建築概論 建築学演習 建築再生論 研究ゼミナール 卒業研究	当初予定していた教員の退職に伴い、既設学科設置基準の教員数を充足するため26年度兼担へ配置した。
専	教授	薄 達哉 (59)	平成27年4月	技術と倫理 建築学海外研修 建築再生論 構造力学ⅡA 構造力学ⅡB 耐震設計法 鉄筋コンクリート構造 鉄筋コンクリート構造演習 建築材料 建築材料実験 建築学演習 研究ゼミナール 卒業研究						
兼担	教授	薄 達哉 (58)	平成26年4月	工学フォーラム 工学概論 構造力学Ⅰ 建築概論						
専	教授	伴丈 正志 (59)	平成29年4月	研究ゼミナール 卒業研究						
兼担	教授	伴丈 正志 (56)	平成26年4月	工学フォーラム 建築設計製図ⅠA 建築設計製図ⅠB 建築設計製図ⅡA 建築設計製図ⅡB 建築学海外研修 建築計画A 建築計画B 都市計画 地域計画 建築一般構造 建築概論 建築学演習						
専	准教授	堀 勉 (55)	平成26年4月	プログラミング基礎 数値計算法 船舶海洋工学入門 浮体静力学 船体復原論 造船設計Ⅲ 造船設計Ⅲ演習 プロジェクトⅠ プロジェクトⅡ プロジェクトⅢ プロジェクトⅣ 卒業研究						
専	准教授	松岡 和彦 (43)	平成27年4月	技術と倫理 材料力学Ⅰ 材料力学Ⅱ 船舶CAD 現代造船技術論 プロジェクトⅡ プロジェクトⅢ プロジェクトⅣ 卒業研究						
兼担	准教授	松岡 和彦 (42)	平成26年4月	工学概論 船舶海洋工学入門 船体構造 CAD基礎 プロジェクトⅠ						
専	准教授	黒田 勝彦 (46)	平成29年4月	技術者コミュニケーション実習 卒業研究						

兼担	准教授	黒田 勝彦 (43)	平成26年4月	工学概論 メカニズム 機械設計A 機械設計B メカフォーラムⅢ 機械力学Ⅰ 機械力学Ⅱ 機械工学演習 機械工学実験Ⅱ 機械工学ゼミ 技術者倫理						
専	准教授	谷野 忠和 (41)	平成26年4月	ベクトル解析 技術と倫理 メカフォーラムⅢ 流体工学Ⅰ 流体工学Ⅱ 機械工学基礎実験 機械工学演習 機械工学実験Ⅰ 機械工学実験Ⅱ 機械工学ゼミ 技術者倫理 技術者コミュニケーション実習 卒業研究						
専	准教授	仲尾 晋一郎 (43)	平成28年4月	メカフォーラムⅢ 流体機械 機械工学演習 機械工学実験Ⅱ 機械工学ゼミ 技術者倫理 技術者コミュニケーション実習 卒業研究						
兼担	准教授	仲尾 晋一郎 (41)	平成26年4月	技術と倫理 工学フォーラム メカフォーラムⅠ メカフォーラムⅡ 機械製図 機械CAD 機械工学基礎実験 機械工学実験Ⅰ 技術英語						
専	准教授	松川 豊 (39)	平成27年4月	熱力学Ⅰ 熱力学Ⅱ 新エネルギー工学 航空工学 機械工学演習 機械工学実験Ⅰ 機械工学実験Ⅱ 機械工学ゼミ 航空機設計法 技術者倫理 技術者コミュニケーション実習 卒業研究						
兼担	准教授	松川 豊 (38)	平成26年4月	工学概論※ 機械と物理						
専	准教授	房安 貴弘 (42)	平成27年4月	電磁気学Ⅰ 電磁気学Ⅱ 電磁気学Ⅲ 電気電子計測 電磁波工学 技術と倫理 科学技術英語 卒業研究		後任未定			平成26年3月房安准教授 退職のため	
兼担	准教授	房安 貴弘 (41)	平成26年4月	工学フォーラム 工学概論 微分積分学Ⅰ 微分積分学Ⅱ	専任 専任 兼任	教授 教授 講師	奥野 公雄 (65) 野瀬 幹夫 (60) 房安 貴弘 (41) 房安 貴弘 (41)	平成26年4月 平成26年4月 平成26年4月 平成26年4月	工学フォーラム 工学概論 微分積分学Ⅰ 微分積分学Ⅱ	平成26年3月房安准教授 退職のため平成26年4月 より担当者の変更
専	准教授	伊東山 勳 (69)	平成27年4月	技術と倫理 医用機器学概論 呼吸療法装置 呼吸療法装置実習 血液浄化装置 血液浄化装置実習 医用治療機器学 医用治療機器学実習 生体計測装置学実習 体外循環装置 体外循環装置実習 医用工学特別演習 卒業研究						
兼担	准教授	伊東山 勳 (68)	平成26年4月	工学概論 工学フォーラム						
専	准教授	濱砂 博信 (63)	平成26年4月	図学 工学フォーラム 建築製図A 建築製図B 建築設計製図ⅠB 建築設計製図ⅡA 建築設計製図ⅡB 建築学海外研修 建築概論 建築学演習 建築CAD 建築測量 研究ゼミナール 卒業研究						

専	准教授	山田 由香里 (42) 、 (馬場 由香里)	平成28年4月	建築学海外研修 建築再生論 建築意匠 西洋建築史 日本建築史 住生活文化論 研究ゼミナール 卒業研究						
兼担	准教授	山田 由香里 (40) (馬場 由香里)	平成26年4月	図学 工学概論 技術と倫理 工学フォーラム 建築学演習 建築製図A 建築製図B 建築設計製図I A 建築概論						
専	講師	臨山 祐介 (60)	平成26年4月	船舶海洋工学入門 造船幾何 船舶数学基礎 船舶工学基礎実験 造船設計I 造船設計I演習 操船学同演習 プロジェクトI プロジェクトII プロジェクトIII プロジェクトIV 卒業研究						
専	講師	清山 浩司 (36)	平成26年4月	電気工学基礎II 集積システム設計 電子工学基礎 アナログ回路I アナログ回路II 半導体デバイスI 半導体デバイスII 電気電子工学実験I 電気電子工学実験II 工学フォーラム※ プログラミング基礎 電子回路 科学技術英語 卒業研究	専	准教授	清山 浩司 (36)			平成25年7月准教授昇格
専	助教	田中 僚 (38)	平成28年4月	送配電工学I 送配電工学II 電気・電子材料 電気電子工学実験I 電気電子工学実験II 科学技術英語 卒業研究						
兼担	助教	田中 僚 (36)	平成26年4月	電気回路III 電気工学基礎I 工学フォーラム						
専	助教	水野 裕志 (32)	平成26年4月	工学フォーラム 電気電子基礎実験 医用材料工学 生体物性工学 医用機械工学 医用工学概論 医用機器安全管理学 医用機器安全管理学実習 卒業研究	専	講師	水野 裕志 (32)			平成25年7月講師昇格
兼担	教授	谷 昇 (65)	平成26年4月	力学I 力学II 熱力学 電磁気学 インターンシップ						
兼担	教授	劉 震 (54)	平成26年4月	情報基礎 情報基礎演習 プログラミング応用 情報科学 コンピュータシステム 情報工学						
兼担	教授	池末 純一 (64)	平成26年4月	情報基礎 情報基礎演習						
兼担	教授	慎 熾益 (66)	平成28年4月	船体運動論 現代造船技術論						
兼担	教授	池上 国広 (67)	平成27年4月	海洋開発工学I 海洋開発工学II						
兼担	教授	Brian Burke- Gaffney (65)	平成28年4月	機械と国際化						
兼担	教授	村田 明久 (64)	平成27年4月	建築設計製図I A 建築設計製図I B 建築設計製図II A 建築設計製図II B						
兼担	教授	横山 正人 (65)	平成28年4月	医療情報						
兼担	准教授	長 良夫 (58)	平成26年4月	基礎数学 微分積分学I 微分積分学II 微分積分学III 線形代数学I 線形代数学II 代数学A 代数学B						
兼担	准教授	加藤 貴 (43)	平成26年4月	力学I 力学II 熱力学 電磁気学 機械工学基礎実験						

兼任	講師	三田 淳司 (49)	平成26年4月	情報基礎 情報基礎演習 プログラミング基礎 プログラミング応用 情報と社会						
兼任	講師	蒲原 新一 (44)	平成26年4月	情報基礎 情報基礎演習						
兼任	講師	佐藤 雅紀 (39)	平成28年4月	制御工学 計測工学 メカトロニクス						
兼任	講師	中村 昌彦 (58)	平成28年4月	海洋開発工学II						
兼任	講師	豊福 正史 (60)	平成29年4月	船舶設計論						
兼任	講師	高 允室 (66)	平成27年4月	材料力学I 材料力学II 機械材料学 溶接工学 材料強度学						
兼任	講師	諸星 彰三 (62)	平成28年4月	トライボロジー						
兼任	講師	井上 克明 (60)	平成27年4月	機械設計製図						
兼任	講師	藤本 孝文 (45)	平成28年4月	情報通信工学I 情報通信工学II						
兼任	講師	尾崎 誠一 (69)	平成28年4月	電気電子工学実験I 電気電子工学実験II						
兼任	講師	久芳 信二 (48)	平成29年4月	電気法規・電気施設管理						
兼任	講師	横田 賢一 (54)	平成29年4月	電波法規						
兼任	講師	松村 雅史 (55)	平成27年4月	医用計測工学 生体計測装置学						
兼任	講師	岩橋 正國 (60)	平成27年4月	システム工学						
兼任	講師	水田 陽平 (56)	平成27年4月	臨床医学総論I 臨床医学総論II						
兼任	講師	木村 喜久雄 (71)	平成27年4月	放射線工学概論						
兼任	講師	中島 秀明 (60)	平成26年4月	造形デザイン						
兼任	講師	川崎 薫 (60)	平成27年4月	構造計画						
兼任	講師	玉井 宏章 (53)	平成28年4月	鋼構造 鋼構造演習						
兼任	講師	中村 和利 (57)	平成28年4月	建築施工						
兼任	講師	松尾 強 (58)	平成28年4月	建築設計製図SA 建築設計製図SB						
兼任	講師	森 勝則 (58)	平成28年4月	建築設計製図SA 建築設計製図SB						
兼任	講師	佐々木 信明 (56)	平成28年4月	建築設計製図SA 建築設計製図SB						
兼任	講師	鈴山 弘祐 (58)	平成28年4月	現代建築事情						
兼任	講師	嶋崎 浩樹 (38)	平成28年4月	現代建築事情						
兼任	講師	三好 定和 (59)	平成28年4月	現代建築事情						
兼任	講師	村元 俊夫 (61)	平成28年4月	建築法規						

<共通>

(1) 担当教員表

母任・兼任・並任	設置時の計画				変更状況					備考
	職名	氏名 (年齢)	就任予定年 月	担当授業科目名	母任・兼任・並任	職名	氏名 (年齢)	就任予定年 月	担当授業科目名	
兼任	教授	藤原 豪 (65)	平成26年4月	基礎数学 微分積分学I 線形代数学I 線形代数学II 幾何学A 幾何学B	兼任	講師	藤原 豪 (65)	平成26年4月	基礎数学 微分積分学I 線形代数学I 線形代数学II 幾何学A 幾何学B	藤原教授平成26年3月退職により平成26年4月から兼任→兼任となる。
兼任	教授	日當 明男 (54)	平成26年4月	微分積分学I 微分積分学II						

兼担	教授	横手 一彦 (54)	平成26年4月	大学生入門 ながさきを学ぶ ことばと映像 近代日本文学 日本文化論 人文科学ゼミⅠ 人文科学ゼミⅡ 総合問題ゼミⅠ 総合問題ゼミⅡ						
兼担	教授	木村 博 (59)	平成26年4月	大学生入門 平和を学ぶ 哲学 批判的思考法 人文科学ゼミⅠ 人文科学ゼミⅡ 総合問題ゼミⅠ 総合問題ゼミⅡ						
兼担	教授	村田 義幸 (69)	平成26年4月	心理学 人間関係論						
兼担	准教授	渡佐 雄一郎 (40)	平成26年4月	微分積分学Ⅰ 微分積分学Ⅱ 微分積分学Ⅲ ベクトル解析 力学Ⅰ 力学Ⅱ 熱力学 電磁気学						
兼担	准教授	芝野 由和 (64)	平成26年4月	大学生入門 平和を学ぶ※ 政治学基礎 現代政治 国際関係論 社会科学ゼミⅠ 社会科学ゼミⅡ 総合問題ゼミⅠ 総合問題ゼミⅡ						
兼担	准教授	木永 勝也 (56)	平成26年4月	大学生入門 平和を学ぶ 日本事情概論 歴史学 近現代史 現代社会を考える 人文科学ゼミⅠ 人文科学ゼミⅡ 総合問題ゼミⅠ 総合問題ゼミⅡ						
兼担	准教授	渡谷 颯一 (41)	平成26年4月	大学生入門 健康の科学 保健体育実技A 保健体育実技B						
兼担	准教授	上野 誠司 (51)	平成26年4月	基礎英語ⅠA 基礎英語ⅠB 基礎英語ⅡA 基礎英語ⅡB 英語ⅠA 英語ⅠB 英語演習A						
兼担	准教授	山田 聖剛 (61)	平成26年4月	基礎英語ⅠA 基礎英語ⅠB 基礎英語ⅡA 基礎英語ⅡB 英語ⅠA 英語ⅠB 英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語演習B						
兼担	准教授	小川 保博 (64)	平成26年4月	独語Ⅰ 独語Ⅱ 基礎英語ⅠB 基礎英語ⅡA 基礎英語ⅡB 英語ⅠA 英語ⅠB 英語Ⅲ 大学生入門						
兼担	准教授	百田 みち子 (65)	平成26年4月	仏語Ⅰ 仏語Ⅱ	兼任	講師	百田 みち子 (65)	平成26年4月	仏語Ⅰ 仏語Ⅱ	百田准教授平成26年3月退職に伴い平成26年4月から兼担→兼任となる。
兼担	講師	佐藤 雄一郎 (41)	平成26年4月	大学生入門 憲法Ⅰ 憲法Ⅱ 法学入門 現代社会と法 人文科学ゼミⅠ 人文科学ゼミⅡ 総合問題ゼミⅠ 総合問題ゼミⅡ	兼担	准教授	柴田 守 (36)	平成25年10月	大学生入門 憲法Ⅰ 憲法Ⅱ 法学入門 現代社会と法 人文科学ゼミⅠ 人文科学ゼミⅡ 総合問題ゼミⅠ 総合問題ゼミⅡ	佐藤講師平成25年9月退職に伴い柴田准教授を後任として平成25年10月採用
兼担	講師	桑戸 孝子 (52)	平成26年4月	日本語ⅠA 日本語ⅠB 日本語ⅡA 日本語ⅡB 日本語Ⅲ 日本語Ⅳ 日本語演習A 日本語演習B						
兼任	講師	藤井 光廣 (70)	平成26年4月	力学Ⅰ 力学Ⅱ						
兼任	講師	村田 嘉弘 (58)	平成26年4月	線形代数学Ⅰ 線形代数学Ⅱ 微分方程式 フーリエ変換ラプラス変換						

兼任	講師	原澤 隆一 (39)	平成26年4月	線形代数学 I 線形代数学 II							
兼任	講師	丸山 幸宏 (55)	平成26年4月	線形代数学 I 線形代数学 II							
兼任	講師	植野 貴之 (39)	平成27年4月	確率・統計							
兼任	講師	山下 達也 (32)	平成26年4月	教育学 現代社会と教育							
兼任	講師	小島居 伸介 (52)	平成26年4月	文化人類学 【3年に2度開講】							
兼任	講師	国武 雅子 (52)	平成26年4月	女性学 【3年に2度開講】							
兼任	講師	前田 陽次郎 (43)	平成27年4月	経済学 【3年に2度開講】							
兼任	講師	関 隆三 (69)	平成26年4月	保健体育実技A 保健体育実技B							
兼任	講師	前門 富美子 (58)	平成26年4月	保健体育実技A							
兼任	講師	前川 智子 (66)	平成26年4月	基礎英語 I B 基礎英語 II B 英語 I B 英語 II							
兼任	講師	三浦 順子 (60)	平成26年4月	基礎英語 I A 基礎英語 II A 英語 I A 英語 I B 英語 III							
兼任	講師	南川 真知子 (61)	平成26年4月	基礎英語 I B 基礎英語 II B 英語 I B 英語 II							
兼任	講師	濱崎 大 (40)	平成26年4月	基礎英語 I A 基礎英語 II A 基礎英語 II B 英語 I A 英語 II							
兼任	講師	Pascal Yamak Yakuzan (59)	平成26年4月	基礎英語 I A 基礎英語 II A 基礎英語 II B 英語 I A 英語 I B 英語 II							
兼任	講師	Danny James Louviere (58)	平成26年4月	基礎英語 II A 英語 I A 英会話 III 英会話 IV							
兼任	講師	糸山 景大 (70)	平成29年4月	職業指導 I 職業指導 II							
兼任	講師	笹田 和子 (40)	平成26年4月	中国語 I A 中国語 I B 中国語 II A 中国語 II B							
兼任	講師	Larryjuu Acosta (36)	平成26年4月	英会話 I 英会話 II							
					兼任	教授	上国 恒太郎 (65)	平成26年4月	教育学 現代社会と教育		教員免許状の種類増加による教職課程教員の増員

(注)・申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。

なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。

- ・後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成26年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合（「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。）は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・**認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AO教員審査)を受けてください。**AO教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・「専任教員採用等変更書(AO)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2)専任教員数

設置時の計画					変更状況					年齢構成	
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
11 (3)	10 (4)	2 (2)	2 (1)	25 (10)	11 (0)	10 (0)	2 (0)	1 (△1)	24 (△1)	63歳	8名

- (注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成26年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)
- ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、および、平成26年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。
 - ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	准教授	房安 貴弘	他大学への割愛による退職
2			
3			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および（）書きで報告年度を記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- ・ 房安准教授の他大学への割愛による退職は、今回の改組の特にカリキュラムを検討するカリキュラム検討委員会の中心的な人物ただけに非常にダメージが大きい。しかしながら本人の研究環境が今より良い状態になるのであれば退職もやむを得ないと判断した。学生の履修に関しては、26年度の担当科目については、本人が非常勤で担当するものと、他の専任教員で担当することができたので休講することなく学生に迷惑をかけることは無い。次年度以降の科目については、現在、後任は未定だが早急に手立てを考える予定。
 ・ 学生への周知としては、4月のオリエンテーションの際に知能情報学科の全学年の学生に直接伝えている。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (〇〇年〇〇月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年△△月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年□□月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年●●月)	該当なし		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<工学部>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教務専門委員会 <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 原則として毎月1回（除く8月）開催、各コースから1名（計8名）、共通教育から3名、教職課程から1名情報科学センターから1名、教務課より1名で構成。 <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教務関係全般の事項について ・ 授業評価アンケートの実施についてまたその結果の分析について ・ 授業評価アンケートの質問項目の検討について ・ FD研修会の実施内容について ・ 研究授業参観について <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業評価アンケート年2回（前期、後期各1回） ・ FD研修会年4回（うち教務に関する内容2回） ・ 研究授業参観年2回 <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業評価アンケート（選択方式、自由記述含む）結果は例年報告書として冊子体にまとめる。 ・ FD研修会（スクール形式、質疑応答有） ・ 研究授業参観は各コースより対象とする科目を抽出してもらい希望者を募り実施する。実施後は各自報告書を提出してもらおう。 <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業評価アンケートは専任教員全員及び非常勤全員の科目で実施する。 ・ FD研修会は平成25年度に4回実施し、出席者の平均は5.2名だった。 <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業評価アンケートは、結果を報告書としてまとめ、学生にも閲覧できるようにしている。また、評価の低い項目について改善点の報告を求めており、改善の傾向が表れている。 ・ FD研修会では指導方法の研修のみならず、全学的な一致した認識を持つために発達障害などの身近な内容のものも取り入れて授業改善への取組みも実施している。 <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業評価アンケート年2回（前期、後期各1回） <p>b 教員や学生への公開状況、方法等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 報告書を作成し、教員全員に配布。また各コースの事務室に配布し学生が自由に閲覧できるようにしている。
--

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
- ・ 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

別紙通り

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・平成19年に認証評価を受審した結果を平成20年6月に公表をしている。今年度に認証評価の受審予定なのでその結果を平成27年に公表の予定をしている。

b 公表方法

- ・自己評価報告書を刊行し、全教員に配布予定
- ・大学ホームページ上に公開予定（平成27年6月を予定）

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成26年度に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受審する予定。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有) ・ (無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (26年 6月)

設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

工学部

1. 申請書に記した本学科の設置の趣旨・目的

一般・専門基礎知識を幅広く修得して建学の精神にある「ものづくりとしての実行力」、
「ものまねでない新技術の開発力」を獲得し、さらにコミュニケーション能力と国際性を
身に付け、技術者としての倫理観を持った 21 世紀循環型社会の構築に貢献できる人材を
養成することを目的としている。

2. 趣旨・目的の達成状況

1) 入学者状況

①入学志願者数

入学定員数 150 名に対し、志願者数は 240 名、昨年が 242 名であったので残念
ながら大きな変化は見られなかった。入学者数は 132 名で定員を満たすことができな
かった。

②入学者数

入学者を学科のコース毎に見てみると医療工学コースの入学者が 37 名で工学部入
学者全体の 28% を占めている。これは、臨床工学技士の資格取得を最大の目的とする
このコースの特徴が効果をもたらしていると言えよう。

③入学者の傾向

例年より進学校出身の生徒が多かったことを裏付けるように入学直後に実施してい
るプレースメントテスト(数学・英語)の結果のうち、特に数学で過去 4 年間の平均(4
2 点)を 10 点上回る結果が出た。また、年度初めに何度かあるオリエンテーションに
おいても私語を交わす学生が少なく「まじめな学生」の印象を受けた。

2) 退学者、在学生の状況

①退学者

現時点での退学者はいない。

②在学生の状況

設置年度なので入学者の 1 年生 189 名が全員となる。

3) 授業科目について

設置年度である今年度(平成 26 年度)の 1 年次前期に担当されている共通科目も専
門科目も予定通り開講されている。

4) 教員組織について

専任教員1名が割愛により退職することになったが、今年度の担当科目については手立てがついたので学生への影響はなくなった。それ以外のところでは定年退職により兼任が兼任になるケースがあるが学生には何ら影響はない。その他の教員については変更なく履行されている。

5) 総括評価・所見

入学志願者数及び入学者数については、昨年を若干下回ってしまったが、質の高い学生が入学してきた様子が見受けられ今後が期待される。また、医療工学コースのように目標が受験生や保護者等に明確に提示されている場合は、学生も集まるので来年度の募集に向けて学科で検討する必要がある。

開設年度ということもあり、1年生は専門科目の履修が少なく、ものづくりや新技術に出会う機会もあまりないが、NiASプロジェクト（学生がコースの別なくグループを作り、様々なものづくりの取り組みを行う）やオープンキャンパス、学園祭と講義以外での「ものづくり」との出会いがあると思うのでその機会をおおいに利用して欲しい。

長崎総合科学大学 教務専門委員会規程

第1条（設 置）

本学の教務に関する事項を審議するため、全学教授会規程第9条第2項の規定に基づき、教務専門委員会（以下、「専門委員会」という。）を置く。

第2条（審議事項）

専門委員会は、次に掲げる事項を審議する。

- (1) 学生の転学、留学、再入学、卒業及び修了に関すること。
- (2) 科目等履修生、聴講生及び研究生に関すること。
- (3) カリキュラム及び時間割に関すること。
- (4) シラバス及び履修ガイドに関すること。
- (5) 授業科目の種類、単位及び単位認定に関すること。
- (6) 大学の年間授業日程に関すること。
- (7) 受講登録及び試験に関すること。
- (8) 教育研究集会に関すること。
- (9) 授業評価アンケートに関すること。
- (10) 学則及び教務関係規程に関すること。
- (11) 学長又は全学教授会から諮問を受けた事項に関すること。

第3条（組 織）

専門委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 教務部長
- (2) 各コースより選出された教員 8名
- (3) 共通教育部門より選出された教員 3名
- (4) 教職課程より選出された教員 1名
- (5) 教務課長
- (6) その他学長が必要と認めた者

第4条（任 期）

前条第2号から第5号までの委員の任期は、1年とし、再任を妨げない。ただし、委員が任期満了前に欠けた場合の後任の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

第5条（委員長）

- 1 専門委員会に委員長を置き、教務部長がその任にあたる。
- 2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。
- 3 委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長の指名した副委員長がその職務を代行する。

第6条（会 議）

- 1 定例会は、原則として毎月開催する。
- 2 臨時会は、委員長が必要と認めたときに開催する。

第7条（議 事）

- 1 専門委員会は、委員の3分の2以上が出席しなければ、議事を開くことができない。
- 2 専門委員会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、委員長の

決するところによる。

第8条（代理者）

- 1 第3条第2号から5号までの委員に事故あるときは、それぞれの部門から代理者を出席させることができる。
- 2 前項の代理者は、欠席の委員が指名する。
- 3 前項の代理者は、委員とみなす。

第9条（委員以外の者の出席）

委員長が必要と認めるときは、専門委員会に委員以外の者の出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。

第10条（部会）

- 1 委員長が必要と認めるときは、部会を置くことができる。
- 2 前項の部会は、委員長から指名された委員をもって構成し、委員長から依頼された事項について協議し、その内容を委員会に報告する。

第11条（委員会）

- 1 専門委員会は、必要に応じて、当該専門委員会に属する委員会を設けることができる。
- 2 前項の委員会に関する細則は、別に定める。

第12条（事務）

専門委員会の事務は、教務課において処理する。

第13条（改定）

この規程の改定は、全学教授会の議を経て、常務理事会が決定する。

付 則 1 この規程は、平成26年4月1日から施行する。